



北アフリカ地域ニュース

エジプト：暫定アラブ議会議長会合の開催

(10月29日付現地報道)

(注：「暫定アラブ議会」(Interim Arab Parliament)とは、将来におけるアラブ常設議会の設置を念頭に、2005年3月アルジェリアでのアラブ連盟首脳会議で設置が決定されたもので、アラブ連盟加盟22カ国から選出された各4名の議員の計88議席から構成される。5年間暫定的にカイロに本拠をおいて機能し、その後シリアに本拠を移すとされている。)

- 10月28日、カイロのエジプト人民議会場で暫定アラブ議会の第2回通常定期会合が開催された。同会合では、アラブ諸国を取り巻く諸問題に対する能力の活性化やアラブ共同体の統一の維持を目的として、全アラブ諸国が関心を持つ諸問題が討議された。
- 暫定アラブ議会議長であるムハンマド・アル・サクル・クウェイト国民議会議員は、イラク分割に関する米国議会の決議は、国際法の諸原則、国連憲章、国連諸決議、イラクの統一を妨害する如何なる試みも拒否するとのアラブ連盟の諸決議に反しており、同会合で発出された最終声明により米国議会の決議を強く非難すると強調した。同最終声明は、イラクの統一を維持し、ひいては中東地域の安全と安定に資するよう包括的なイラク国民和解の実現に向けたアラブ諸国の取り組みの強化を呼びかけた。
- スルール・エジプト人民議会議長の発言
 - (1) イラクの悲劇的状況は、中東地域の各国関係に影響を与え、全アラブ諸国に混乱をもたらしている。イラク分割に関する米国議会の決議は、イラクの統一、安全及び安定にとり非常に危険である。エジプトは、イラク国民及びイラクの統一の維持を最初に呼びかけた国の一つである。
 - (2) 文明間の衝突やイスラム及びアラブに対する攻撃を助長するグローバル化が進む中で、我々アラブ共同体には大きな課題がある。
 - (3) パレスチナ問題は、依然、中東地域紛争の中心的問題であり、エジプトは包括的和平が不可欠であることを強調する。
- ムーサ・アラブ連盟事務総長のメッセージ
今回のエジプトでの暫定アラブ議会議長会合は、アラブ諸国に名誉と尊厳を回復した。1973年の第4次中東戦争における勝利から34年が経過したことを記念し、アラブ諸国の諸問題の解決に向けてアラブ議会の役割を活性化するために行われたものである。
- サクル暫定アラブ議会議長の発言
アラブ議会は、アラブ諸国に対し文明間の相互作用や民主主義の実現に向けた行動をとるよう求めた。アラブ諸国の経済的統一の実現こそが(制限されている)政治的な意思を解放するための主要な方途であり、アラブ諸国の経済的統一の実現が重要である。